3セク4社 決算報告 各社増収へ さらなる努力

市内の第３セクター４社がこのほど、定時株主総会を開催。昨期の事業・決算を報告するとともに、今期の事業計画などを決定しました。

エフエムあやべ―76・3FM

中継局整備で可聴エリア拡大

コミュニティラジオ局「FMいかる」を運営するエフエムあやべ（井関悟社長）は6月26日、定時株主総会を開催。経常利益は258万円、純利益は186万円で、7期連続の黒字を報告しました。

同社は、ラジオ放送のほか映像制作やイベントの司会など多方面で活動。地域のにぎわい創出に貢献しています。昨期は、ドローンを活用した災害時の情報収集について、市と協定を締結。市民の安全・安心にも寄与しています。また、近畿コミュニティ放送賞CM部門において、2年連続で最優秀賞を受賞。特別番組部門においても全国水源の里シンポジウムと水源の里10年をテーマに制作したドキュメンタリーが最優秀賞に輝くなど、高い評価を受けています。

本年6月には、中継局2か所を整備。市内の可聴世帯が74㌫から88㌫に拡大しました。今期も、難聴エリアへ無償で受信アドバイザーを派遣するなど、引き続き受信環境の改善に取り組みます。

エリアの広がった志賀郷地区からの受信対策PR放送

ドローンを駆使した映像事業も好評

緑土―あやべ温泉

豊かな自然を生かした観光誘客

睦寄町のあやべ温泉など上林地域の観光施設を運営する緑土（永井晃社長）は6月7日、定時株主総会を開催。昨期は経営陣を刷新し、持続的な安定経営に向けた経営改革に取り組みました。国宝・光明寺二王門を活用したイメージ戦略や売店での日用品の取り扱い、レストランでの定食メニューの復活、マンガ図書館の開設など、顧客の拡大や満足度向上を目指してさまざまな施策を推進。経常利益は2年連続で黒字を確保しましたが、役員退任に伴う特別損失等を含む純損失は、694万円となりました。

今期は、健全経営に向けた施策を継続し、業績回復に努めます。また、森の京都事業との連携や丹波高原国定公園をはじめとする上林地域の豊かな資源を生かした宿泊プランの開発などにも取り組む予定です。

市民の皆さんの協力で約1万冊がそろうマンガ図書館

5コース 40 ホールの全面グラウンドゴルフ場にリニューアル

農夢―京みず菜

売り上げ1億円突破！

農業生産法人・農夢（四方勝一社長）は6月17日、定時株主総会を開催。経常利益57万円、純利益26万円を報告しました。昨期はビニールハウス16棟を新設。計74棟のハウスで京みず菜を中心に約149㌧を生産しました。「農夢の京みず菜」としてのブランドを強みに、売り上げは過去最高の1億284万円を記録しています。

京都市場でシェア１番を占める農夢の京みず菜

今期もさらに、ビニールハウス16棟を増設。気象変化に応じたハウスの温度管理や水量等の工夫で、生産力の向上に努めます。また、新たにトマトベリーを栽培するほか、好評の寒味ホウレンソウの露地栽培も継続します。さらに、西部地域の3つの農業生産法人と共同で壬生菜の栽培に挑戦。同社が生産指導を行い、壬生菜の産地化を目指します。

フルーティーな甘さで人気のトマトベリーは、今期から栽培開始

水夢―あやべ健康プラザ

過去最多の会員確保

青野町のあやべ健康プラザを運営する水夢（山本雄史社長）は5月16日、定時株主総会を開催。経常利益673万円、純利益520万円の増収増益の決算を報告しました。昨期は無料通信アプリ・LINEを使った情報配信を充実するなど、利便性の向上に取り組みました。また、会員紹介キャンペーンなどで新規入会者の確保に努めた結果、総会員数は前期比96人増の1607人となりました。

本年4月には、小学生から高校生までを対象にした「スイミング選手コース」を新設。本格的な競技選手を目指すこともできるようになりました。今期も引き続き、積極的な情報発信やプログラムの充実を図り、会員数を確保。市民の健康づくりをサポートします。

大会出場や記録更新を目指すスイミング選手コース

子どもに人気のヒップホップクラス